

＜大学生と連携した河川ごみ滞留調査から派生！鳥取砂丘でセグウェイ清掃＞

鳥取県では国外から流れ着く海洋ごみが目立つが、街から流れ出る海洋ごみも多い。そこで、昨年からは鳥取環境大学EMS委員会と連携して、川から流れ出る河川ごみの滞留調査を行ってきた。今年は季節変化や出水時の挙動データを計測し、ホットスポットを見つけ、効率的な清掃活動に活かすための事業を実施中。また、全国有数の観光地「鳥取砂丘」のセグウェイツアーに清掃活動を組み込んだモデル事業なども実施し、行動変容のキッカケ作りを行っている。

2022年度 実施状況について

■鳥取環境大学との連携 ＜課題・背景＞

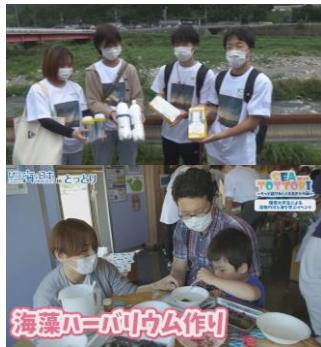
昨年度の調査結果で河川ごみの滞留挙動は推測できたが、季節変化や出水時などの挙動は調査できなかった。

■鳥取砂丘との連携 ＜課題・背景＞

河川ごみの滞留調査の結果、川から海に流れ出たごみは鳥取砂丘周辺に溜まりがちになることが分かったが、対策ができていない。

■とっとり CLEAN ACT ＜課題・背景＞

海洋ごみの多くは街から流れ出るごみ。市街地での清掃活動、海洋ごみ問題に関心の薄い人々を巻き込む施策が必要。



- 概要：鳥取環境大学EMS委員会のメンバーが、GPSを使って季節ごとに川から流れ出る河川ごみ滞留調査を実施
- 目的：正確な河川ごみの滞留挙動の把握、啓蒙活動の継続
- 場所：鳥取県内
- 連携先：鳥取環境大学
- 効果：夏から調査をスタートし、季節ごとに挙動データの蓄積を行っていて、秋から冬にかけて調査を継続実施中。データが出揃った3月頃に調査結果の発表会を実施。合わせて、結果を用いた海洋ごみ問題の啓蒙授業を小学校で実施予定。参加している学生の海洋ごみ削減に対する意識・行動の変容。

- 概要：鳥取砂丘で実施中のセグウェイツアーと連携して、砂丘周辺の海洋ごみの清掃活動と啓蒙活動を実施
- 目的：鳥取砂丘の観光アクティビティ「セグウェイツアー」に海洋ごみ問題の学びと清掃活動を組み込み、行動変容のキッカケ作りを目指す
- 場所：鳥取砂丘
- 連携先：砂丘セグウェイ
- 効果：10月から実証実験をスタートし、来年3月まで実施する。参加者は県内外の観光客。普段の観光にプラスして、砂丘周辺の清掃活動を行うことで、行動変容が促進。また、砂丘近くに拾い箱を設置し、回収の効率化を図っている。

- 概要：9/16～10/16の間、清掃活動の様子をSNSに投稿するフォトコンテストを実施。海岸の近くに拾い箱を設置したり、店舗にごみ袋を設置するなどの連携を図った。また、市街地で開催されるイベントと連携し訴求した。
- 目的：海洋ごみ問題の周知、行動変容のキッカケ作り
- 場所：鳥取県内
- 連携先：鳥取市、三ツ星マーケット、TTエモーションズなど
- 効果：鳥取事務局公式Twitter等で募集したところ、鳥取県だけでなく東京や静岡などから20名が応募。自治体や企業と連携した鳥取県周辺での清掃活動で周知できた。

その他：国交省との連携モデル企画、護海袋、コラボ商品開発等を調整中

メディア露出



5/21 「SEA TOTTORI2022」

6/4 「SEA TOTTORI2022」

6/18 「SEA TOTTORI2022」

9/24 「SEA TOTTORI2022」

その他：TV6本 WEB12本 掲載

2022年度の課題とこれからの展望

海洋問題に関心がある人は増えていて、清掃活動にも大勢の県民が参加してくれるが、集めた海洋ごみの自治体における回収方法の違いや産業廃棄物との取扱いの違いがあり、効率的に回収が行われていない。昨年からは継続して進めている滞留調査により、ホットスポットや季節ごとの挙動が把握できるため、回収方法を含め効率的な海洋ごみ拾い活動の取り組みを進めたい。